



理事長 飯田 和利

皆様には、日頃より東海ろうきんをご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。でございます。

このたび、6月24日をもちまして理事長に就任いたしました飯田でございます。当金庫がなお一層、皆様とともに発展していくため、決意を新たにして誠心誠意この職責を全うしてまいります所存でございます。

さて、ここに当金庫の事業方針、事業概要及び財務状況等について、広く皆様にお知らせするために東海ろうきんディスクロージャー誌「ROKIN DISCLOSURE 2011／東海ろうきんの現況」を作成いたしました。多くの皆様にご高覧いただき、当金庫に対するご理解を深めていただければ幸いです。

2010年度は第5期中期経営計画(2008年度～2010年度)の最終年度として、「働く人たちのくらしと財産を守る」というミッションを達成するため、事業に取り組んでまいりました。特に2010年10月には、東海ろうきん誕生10周年という節目を迎えることができたことに感謝の意を表し、「ありがとうの10年、そして未来へ。」をキャッチコピーとして、更なる発展を目指した様々な記念事業を実施いたしました。残念ながら2011年3月末の融資残高は大変厳しい結果となりましたが、預金残高は順調に増加し、目標を達成することができました。また、当期純利益につきましても目標額を大きく上回ることができました。これもひとえに当金庫をご利用いただいております多くの皆様のご理解・ご支援があったからこそです。金庫を代表して、あらためて感謝申し上げます。

皆様もご存知のとおり、2011年3月11日に東日本大震災が発生いたしました。この国内観測史上最大の地震と津波によって、東日本は未曾有の人的・物的被害を受けております。また、震災は福島第一原子力発電所の事故をも引き起こし、電力不足は長期化の様相を呈しております。これらを受けて、国民生活や企業生産など幅広い方面で深刻な影響が出ており、今後もわたしたち勤労者を取り巻く経済環境は厳しい状況が続くものと思われま。

このような時だからこそ、福祉金融機関である東海ろうきんの存在意義を発揮するべく、「これまでの10年を礎に、働く人の未来を切り拓く」ことを目指し、第6期中期経営計画を策定いたしました。2011年度は次の点に留意して事業を展開してまいります。

- ① 本来の役割に立ち返り、会員との絆を深め、魅力あふれる金融サービスを提供します。
- ② 「攻めの経営」に努め、「満足感」と「信頼感」を高めます。
- ③ イノベーション(事務改革)に挑戦し、安心、便利な「ろうきん像」を目指します。
- ④ チームワークで挑み、組織力を高め、お客様のご期待にお応えします。

勤労者のための福祉、金融サービスの向上を目指すとともに、これらの目標達成に向けて、全役職員が不断の努力を重ねてまいります。

皆様には、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

第6期中期経営計画(計画期間:2011~2013年度)

名称	東海ろうきん第6期中期経営計画 Challenge〈挑め〉20th			
位置づけ	東海ろうきん長期ビジョンの視点に立ち、現下の厳しい競争環境を生き残り「勤労者のための福祉金融機関」として「社会的存在価値」を高める3年間。			
ミッション	より(more)『社会的存在価値』を高める。 より(more)『便利』、より(more)『効率的』な経営を推進する。 より(more)『お客様の信頼』を勝ち取る。 より(more)『活力ある組織(職場)』を確立する。			
基本方針	① 本来の役割に立ち返り、会員との絆を深め、魅力あふれる金融サービスを提供します。 ② 「攻めの経営」に努め、「満足感」と「信頼感」を高めます。 ③ イノベーション(事務改革)に挑戦し、安心、便利な「ろうきん像」を目指します。 ④ チームワークで挑み、組織力を高め、お客様のご期待にお応えします。			
目標とする経営指標(2013年度)	預金	1兆4,300億円	自己資本比率	11%
	融資	1兆2,160億円	ROA	0.4%以上
これらの目標を達成し、当金庫のプレゼンス向上を目指します。				

長期ビジョンと第6期中期経営計画の位置づけ

